

7 BTCからのお知らせ

2007年度軽種馬育成調教場の運営・管理

財団法人軽種馬育成調教センターでは、軽種馬育成調教場の利用者の皆様が円滑に育成馬の調教を行えるように適正かつ効率的な運営・管理を目指しており、本年も新設・改修工事を実施しました。その期間中は利用者の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。

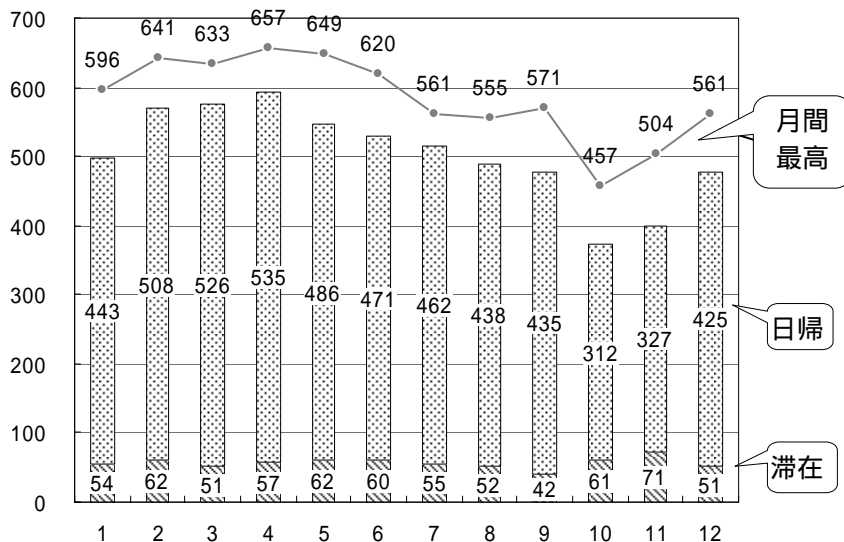
本年度の工事につきましては、屋内トラック馬場は、平成 18 年にクッション砂の取り替えを行いました。通年的に利用が多いことからクッション層の細粒化が進みやすいため毎週砂厚調整を行い、安定した馬場コンディションの確保に努めました。また、混雑緩和のため 6 月下旬から 7 月上旬にかけて準備馬場の走路拡幅および馬場柵（内側・外側）の設置作業を行いました。グラス馬場 2,000m 走路は、平成 18 年に芝の枯死した部分に播種を行ったところ順調に発芽しましたが芝密度が十分とはいえず、さらに 1 年間閉鎖して種子の追加播種、肥料や土壌改良剤散布、土壌攪拌および転圧作業などを行い、来春に向け芝の育成促進に努めました。屋内直線馬場は、西側コースのウッドチップが細粒化し、クッション層が硬化してきたため、7 月初旬から約 2 週間閉鎖し、新材ウッドチップを敷均（厚さ 5cm）し、混合作業を実施しました。その他の各馬場については全般的に良好な状態を保つことができましたと思います。

調教場の利用馬の安全と開場時間の確保のため、本年度も休場日にも通常管理作業を実施するとともに、夏季の調教開始時間を 1 時間早め、調教場利用に支障のないようにした結果、利用者の好評を得ました。また、調教場のより一層の安全と利便性を確保するため以下の工事や措置を実施しました。

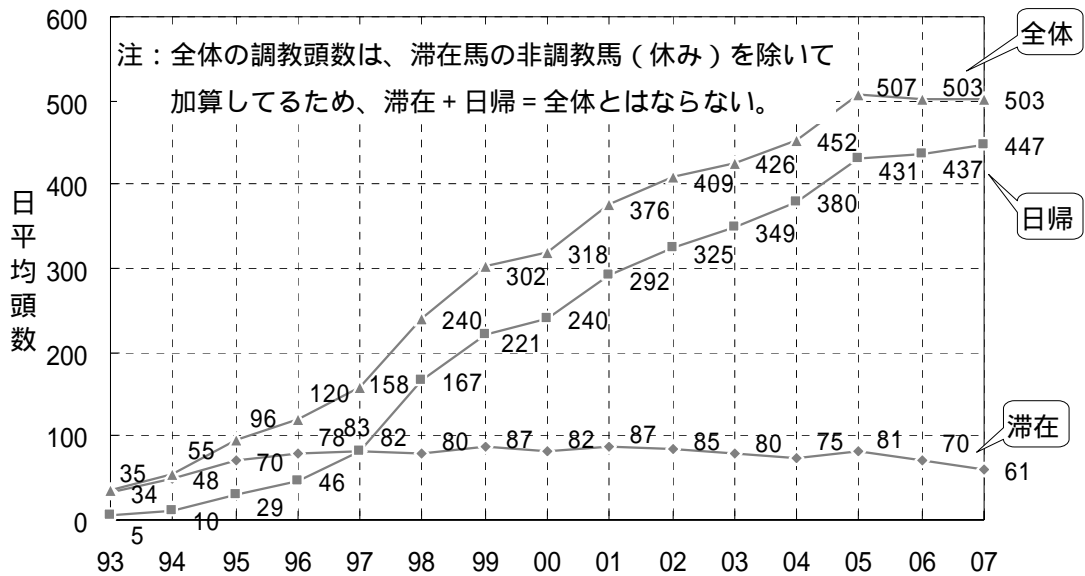
- 1,200m 直線砂馬場のスタート地点にゲート練習や発走練習のための発馬機を設置
- 1,600m 直線砂馬場に BTC 職員が独自に考案・開発した「ハロシグナル装置」を設置
- 1,600m トラック砂場馬場の路盤改良を前年度実施した結果、春の開場が 2 週間早く、冬季の凍結による閉鎖が約 1 週間遅かったことにより開場期間を年間で計約 3 週間延長

2007 年度利用状況

月別 1 日当たり平均調教頭数及び最高頭数



1日当たりの利用頭数の推移



こうした中、年間利用頭数はこれまで年々増加していましたが、最近では横ばい傾向となり本年の利用馬の延頭数は156,435頭(前年比99.6%)、1日当たりの平均利用頭数は503.0頭(前年比99.9%)、1日の最高利用は4月20日の657頭(開場以来最高利用頭数678頭)でした。

なお、歩いて当施設を利用できる近隣育成牧場の馬房数は年々増加しており、689馬房となっております。

軽種馬育成調教場の利用に関する詳細は下記にお問い合わせ下さい。

BTC日高事業所 業務課 0146-28-1001

平成20年5月27日(火)開催予定の「ひだかトレーニングセール(主催)Aひだか東」への上場にはBTCの利用登録が必要です。